

実行委員会に興味のある方は
アルシェ事務局まで!!



2008・4 <eクラシック実行委員会発足>

「この委員会の名前は、e(エ)クラシックに決定!」

「さあ、チラシ、ポスター、プログラムの
デザインはどうする?」
「決めることがいっぱい!」

音楽事務所との打ち合わせや印刷屋との
折衝などは、事務局がするよ。

チケット
発売開始

チラシ
印刷



2008・8 <打ち合わせ>

「チケット売れてる?」

「いつもカバンに入れて
持ち歩きながら 手売りしてるよ」

「たくさんの人に来ていただけるよう、
最後までみんなでがんばろうね」

プログラム
印刷

2008・9・5 <コンサート当日>

「さっ、及川浩治トリオ
"Bee"のみなさんをお出迎えよ」

開演!



そして迎えた、9月5日 pm 9:00。
"ブラボー"のかけ声と
鳴りやまない拍手。
エクラホールが熱く甦った2時間だった。
「皆さん、ありがとうございました」
強烈なりベルタンゴの余韻を残し、
及川浩治トリオ"Bee"の
コンサートが終わった。

GOAL!

「お客さんがとても喜んでくださってたわ!」

「すごい拍手!」

「今日一日のこの至福のために、
これまでがんばってきたのかも。」

「そうだよね。
でも、もっともっといいコンサートを
つくってほしいね!!」

"Bee"コンサートが始まるまで

「エクラホールでのコンサートって、誰が企画しているの?」
「どんなふうにして実現するの?」。そんな「?」にお答えしようと、
eクラシック実行委員会のこの1年の活動を紹介します。

START!

2007・8 <アルシェの人材バンクに登録している ボランティアでクラシック好きの主婦 9名が集う。平均年齢は48歳。>

「ねえ、ねえ、エクラホールで、
今までとひと味違うクラシックを聞いてみたくない?」

「いいわね!でも、誰を呼ぶ?」

「今、人気実力ともNo. 1の及川浩治率いる
トリオ"Bee"は? ピアノ・ヴァイオリン・チェロ
そろってイケメンだし(笑)」

「じゃ、一度みんなで演奏を 聴きに行ってみよう」

2007・9 <松原市民会館で"Bee"のコンサート聞く>

「クラシックを見せて聴かせて乗せて楽しませて。
あっという間の2時間だったわ」

「ぜひ、エクラに来てもらおうよ。
なんとと言っても、華があるし」

「若いクラシックファンを増やすことができるよね。」

「よし、もっと"Bee"について勉強して理事会に
提案しよう! 日程は? 開演時間は? 料金は?」

アルシェにはエクラの自主事業を
担当する約10の実行委員会が登
録されていて、ジャズ、クラシック、
舞台芸術など様々なジャンルで活
動しているんだ。
その中でeクラシック実行委員会
は、9月5日に開催された、
『及川浩治トリオ"Bee"』の
コンサートを担当したんだよ。

PRを
始める

2007・11 <打ち合わせ>

「理事会からゴーサインが出たわ。
みんなで、きっと成功させようね。
ああ、今から緊張してきた」

「知り合いにどんどんPRして
いかない!」

2つ
すすむ

アルシェの理事会に提案

調査のため
1回休み

企画書
をつくる

「だから、都会のホールより格安なんだ。
こんなに安くて、それもこんな近くの
ホールで聴けるなんて・・・
エクラに行かなきゃ、絶対に損!」

2007・10 <打ち合わせ>

「チケットが2500円って、
こんなに安くてもいいの?」

1年間でエクラの自主事業に使えるお金は決まっているんだよ。
でも良いものを低価格で地域のみなさんに提供したいよね。
だから、各行政体や文化財団、企業などが行っている文化事業助成
制度などを活用したり出演者側と交渉したり、工夫してるんだよ。

